



# 九大病院だより

九州大学病院 広報委員会発行

## ■成人先天性心疾患へのあらたな取り組み 小児科・こども病院からの患者さんの移行

### 成人先天性心疾患について

心臓外科治療の進歩に伴い、100人に1人の割合で生まれてくる生まれつきの心臓病（先天性心疾患）の子ども達の多くが、大人に成長しています。日本では20世紀末にすでに子どもの先天性心疾患患者数よりも大人の先天性心疾患患者数が多い状態になり、今後もこの傾向は強くなっていきます。この大人になった生まれつきの心臓病を成人先天性心疾患 Adult Congenital Heart Disease (ACHD) と呼びます。

子どものころに手術を行い、正常な心臓で生まれた人に近い生活を送る人も多いですが、複雑な先天性心疾患では小児期に手術をしても完全に治ったとはいえず、術後、大人になって不整脈・心不全などの問題が出現してくることもあります。

大人になった患者さんが小児科に通院・入院することは、子どもにとっても大人にとってもデメリットが多いため、そのような問題を解決するために専門施設が必要とされてきました。

### 九州大学病院成人先天性心疾患外来 (ACHD 外来) について

九州大学病院では循環器内科、小児科、心臓血管外科の3診療科で2009年から成人先天性心疾患外来の名のもと、国内有数の小児心臓病治療施設である「福岡市立こども病院」からの患者さんの移行を行っています。

「心房中隔欠損症からフォンタン (Fontan) 手術後まで」をモットーに、心臓に穴が空いている患者さんから、2つあるべき心室が1つしかない状態のフォンタン手術後の単心室の患者さんまで、大人になったすべての先天性心疾患患者さんを対象に診療を行っています。

2016年3月末までに500人の患者さんがこども病院から九州大学病院へ移行しています (図1)。

移行患者数は、2014年度にはこども病院の移転もあり、患者数が突出していますが、現状は年間100人程度の患者さんがこ

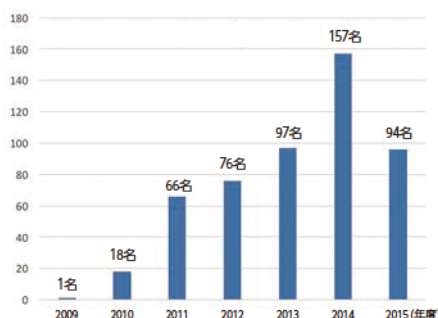


図1 福岡市立こども病院からの移行患者数



循環器内科スタッフ

ども病院を卒業し、九州大学病院へ通院しています。

### 成人先天性心疾患 (ACHD) 診療の現状

前述のごとく、術後、大人になって不整脈・心不全が問題となる患者さんには、循環器内科でカテーテルアブレーションやペースメーカー治療・心臓リハビリテーションの導入を行うことがあります。

また、大人になって初めて診断されることも多い心房中隔欠損症の患者さんに対しては、足の付け根からカテーテルを挿入して欠損孔を塞ぐ経皮的心房中隔欠損閉鎖術も行っています (図2)。入院期間は1週間で、治療翌日から病院内を治療前と同様に歩けます。

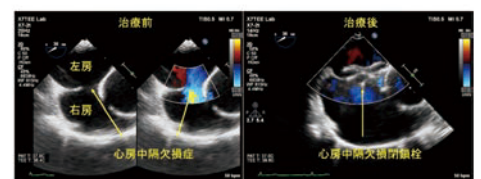


図2 経食道心エコーで見る経皮的心房中隔欠損閉鎖術

再手術が必要な患者さんには心臓カテーテル検査・心臓MRIなどで適応を判断の上、心臓血管外科で再手術をお願いしています。また、最近では妊娠・出産を希望する成人先天性心疾患患者さんも少なく、産婦人科とも診療連携を図っています。



図3

#### ■成人先天性心疾患外来

開設場所：外来診療棟3階東 ハートセンター外来

電話番号：092-642-5371

担当：循環器内科

坂本一郎 (写真左)

小児科(循環器グループ) 山村健一郎 (写真右)

## ▶▶▶ 診療科のご案内 ①

## 小児科

小児科は「子どもの総合診療科」で、対象とする疾患は多岐にわたります。院内の関連する各診療科と連携して、3つのセンターを中心に診療を行っています。

1つ目が小児医療センターで、全国の15施設のうち、九州沖縄地区では唯一の小児がん拠点病院として造血幹細胞移植を含めた集学的治療を実践しています。小児がん以外にも他の医療機関では治療困難な重症例を中心に診療を行っています。

2つ目の総合周産期母子医療センター新生児内科部門（NICU）では、福岡地区の他のNICUでは診療困難な500gを下回るような超低出生体重児や、出生前診断のついた先天性心疾患や中枢神経系・泌尿器系の先天奇形の児を関連診療科と連携して診療しています。

3つ目は小児救命救急センター（PICU）で、救命に高度医療（体外式膜型人工肺：ECMOなど）が必要な重症児を他県からも受け入れています。冒頭で「子どもの」と書きましたが、成人期以降も継続的に専門的な医療を受ける小児慢性疾患の患者さんが増加しているため「トランジショナルケア外来」では、成人科への円滑な移行のサポートも行っています。

小児科：<http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/shinryo/naika/12/index.html>



## ▶▶▶ 診療科のご案内 ②

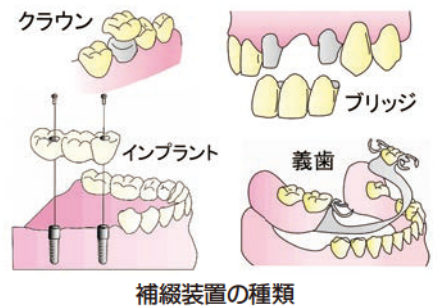
## 義歯補綴科

義歯補綴（ほてつ）科では、冠（クラウン）、ブリッジ、入れ歯（義歯）やインプラントなどのさまざまな補綴装置を使って、歯と歯のかみ合わせ（咬合）や咀嚼を回復するための修復（補綴治療）や口腔リハビリテーションを行い、咬合の問題や顎関節症に対応します。

日本補綴歯科学会や日本口腔インプラント学会、日本顎関節学会、日本老年歯科医学会、日本口腔顔面痛学会の専門医や認定医などを含む歯科医師が治療にあたっています。また、インプラント外来、顎関節症外来、顎顔面補綴外来、睡眠無呼吸症歯科外来、スポーツ歯科外来を実施し、インプラント治療は再生歯科・インプラントセンターで行っています。

問題のある歯や欠損部位の治療だけでなく、各診療科と連携しながら一口腔単位で総合的な検査を行い、治療計画を提示します。補綴治療は治療期間が長く、保険外治療を含めて治療費が高額となる場合が多いので、明確な説明を行い、治療に同意を得た上で診療を始めることを基本方針としています。

義歯補綴科：<http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/shinryo/dent/05/index.html>



補綴装置の種類

## ■連載 メディカルスタッフを紹介します [20]

このコーナーでは本院の医療スタッフの役割を順次、紹介します

## 視能訓練士

九州大学病院の眼科では、視能訓練士が「見る」ということに関するトラブルについて、さまざまな検査を行っています。視能訓練士は医師の指示のもとで視能に関する検査やケアを行う、国家資格を必要とする専門職です。視覚から得られることは人が外から得る情報の8割を占めるといわれています。「見えにくさ」にはいろいろなパターンがあり、どのように見えにくいのか、また、どれくらい見えにくいのかなど、視能に関する検査を行い「見えにくさ」の原因を明らかにしていきます。また、最近の画像機器の進歩により、眼科診療・機器の高度化、専門化が進んでいます。私たち視能訓練士は、患者さんの眼の健康を生涯を通して守るため、何が出来るのかを真摯に追求し、質の高い医療の提供ができるよう、日々研さんを重ねています。そして見えづらさに不安を抱えている患者さんに寄り添い、患者さんが安心して受診できるよう眼科医と患者さんとの橋渡しを行っています。



11月5日(土)

## 「九大百年 美術をめぐる物語」 関連のセミナー開催

九州大学と深いゆかりをもつ作家や作品など、美術作品を通してさまざまな視点から百年の歩みをたどる「九大百年 美術をめぐる物語」が、福岡県立美術館で10月8日(土)～11月13日(日)開催されています。

開催期間中、病院キャンパス内の医学歴史館でも福岡美術会を組織した新島伊三郎によって制作されたムラージュ(※)の展示を中心に、「医と美術」の接点を探る展示が行われています。

また11月5日(土)には、本院古江増隆皮膚科長が「九州大学皮膚科のムラージュ」と題し、福岡県立美術館で開催される連続セミナーの第2回開催日に登壇します。

皆さん、ぜひご来場ください。

※病歴の記録や医療教育用のための型取り模型



### 連続セミナー「九大百年」第2回

日時：2016年11月5日(土) 14:00～17:00

会場：福岡県立美術館 4階視聴覚室  
(福岡市中央区天神 5-2-1)

参加費：無料

定員：約80人(事前申し込み不要)

- ①「九州大学皮膚科のムラージュ」  
九州大学大学院医学研究院 教授 古江 増隆
- ②「金平亮三の植物研究と科学描画」  
九州大学総合研究博物館 准教授 三島美佐子
- ③「九州大学の学術研究と美術とのつながり」  
福岡県立美術館 学芸員 高山 百合

■福岡県立美術館 <http://fukuoka-kenbi.jp/>

■九州大学総合研究博物館  
<http://www.museum.kyushu-u.ac.jp/>

■九州大学医学歴史館  
<http://rekishikan.med.kyushu-u.ac.jp/>

※観覧時間10:00～16:30 月・火休館  
病院キャンパス内

## 九州大学病院別府病院 内科（免疫・血液・代謝）

免疫・血液・代謝内科は、堀内孝彦教授のもとリウマチ・膠原病、血液、腫瘍内科、糖尿病・内分泌の診療を行っています。とくにリウマチ・膠原病診療部門は、80年の歴史があり、別府ならではの温泉プール施設によるリハビリテーションも可能なため、県内外を問わず患者さんが来院する別府病院の診療の大きな柱の一つです。

リウマチ・膠原病部門と血液がん・悪性腫瘍の領域では、抗体を利用した薬や分子標的薬などの新規治療薬が次々と登場しています。新規薬剤は治療成績の向上をもたらす一方、特有の副作用もあり、高度の専門性が必要となる治療ですが、当科では各々の専門医が診療に当たっています。

また、大分県は高齢化の影響で、糖尿病などの罹患率も高く、常勤の糖尿病などの各医師と協力して、これらの合併症診療も並行して行っています。今後も、患者さんや紹介医に安心・信頼の得られる医療を提供できる診療体制を強化・充実させていきたいと考えています。



## ■もやもや病専門外来 開設のお知らせ

九州大学病院では、2016年8月から水曜日の午前中に、もやもや病専門外来を開設しました。もやもや病は、わが国で疾患の概念が確立された原因不明の脳血管障害です。

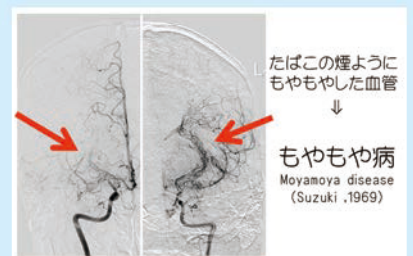
内頸動脈(大脳の太い動脈)の終末部を中心に狭くなり、足りない血流を補うため、自然のバイパス血管が発達します。このバイパスがあたかも「たばこの煙」のように見えることから、もやもや病と命名されました。おもに10歳以下の小児と30～40歳代の成人にもっとも多く見られる病気で、小児の場合は、一過性脳虚血発作や脳梗塞などの脳虚血の症状で発症することが多いのに対し、成人では脳出血で発症することが多い病気です。

最近では偶然発見されることも多くなりましたが、診断さ

れた場合、脳血管撮影や脳循環検査を行い、症状の有無などを参考にして、内科治療やバイパス術の適応を判断します。

最近になって脳虚血発作の予防だけで

なく、脳出血の再発予防にもバイパス手術が有効であることが証明されました。また、病気にかかりやすい遺伝子も報告されています。受診を希望される方は、紹介状を持って来院ください。



もやもや血管(脳血管撮影)



## ■小児医療センターでプラネタリウムを開催しました

去る8月19日、九州大学病院小児医療センター内プレイルームで、NPO 団体 MOIRA (ミラ 代表者：九州大学医学部医学科3年奥田一貴 [www.moira-jp.com](http://www.moira-jp.com)) による入院患者さんとその家族を対象にしたプラネタリウムの放映イベントが開催されました。

プラネタリウム放映は、14時からと15時半からの計2回行われ、のべ80名を超える患者さんとその家族が参加しました。プラネタリウムが始まると、プレイルームは瞬間に天の川を中心にした夏の宇宙空間に早変わり。普段なかなか目にする事の少ない星空に、参加者は目を輝かせながら見入っていました。

このイベントは、2016年度 QREC (九州大学 ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター) の「チャレンジ&クリエイション (C&C)」に、採択されたプロジェクトです。C&C は、九州大学の学生が自ら企画するユニークなアイデアや研究プロジェクトの実現を助成する事業で、独自性、挑戦度合、社会的インパクトによって、毎年8チームが選抜され、翌年の成果報告会で優秀プロジェクトが表彰されます。

主催者の奥田さんは、患者さん自身のことを考えた医療を行いたいとの思いから、病院にエンターテイメントを導入することにより、患者さんの満足度、生活の質を上げることを目指しています。実際に他の医療機関を訪問した際に耳にした「星空を見たい」という患者さんの声から、NPO 団体 MOIRA を立ち上げ、株式会社大平技研と提携し、筑波大学での開催を皮切りに、病院でのプラネタリウムの放映イベントを開催しています。C&C の採択により九州でのイベント開催を計画し、今回がその第1回目となりました。



奥田さん(右)とナレーターの大平さん

病院にお越しの際は保険証をお忘れなく!

※保険証の提示がない場合には、保険での取扱いができません。



九州大学病院 (病院キャンパス) は敷地内全面禁煙です。

### ■病院の理念

患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します。

### ■基本方針【理念に基づく実行目標として、下記の5つを掲げています】

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| ①地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進 | ④専門医療の高度化を目指した医学研究の推進 |
| ②プライマリ・ケア診療の充実         | ⑤国際化の推進               |
| ③全人的医療が可能な医療人の養成       |                       |



九州大学病院  
KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL

TEL 092-641-1151 [代表] FAX 092-642-5146 [外来]  
〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号  
(ホームページ) <http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp>